

つちだのオープン戦観戦記

東京都第一代表 東京ガス戦

2015年6月29日(月) 球場 東京ガスグラウンド 試合開始 10時30分

四球	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
安打	0	1	1	3	0	1	2	1	0	9
明治安田生命	0	1	0	1	0	0	2	0	0	4
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
東京ガス	1	0	2	3	0	0	2	4	X	12
安打	2	0	3	4	0	3	3	3		18
四球	0	1	1	0	1	0	0	2		5

明治安田生命 岡(3回)・上田(1回)・重信(2回)・大久保(2回)---手銭・野地
東京ガス 難波(5回)・岡崎(2回)・井口(1回)・那須(1回)—安本

二塁打 大野(明治安田生命)・平原・柴山(東京ガス)
三塁打 小林・浜田(政)・地引・(東京ガス)
本塁打 地引(東京ガス)

試合観戦は6月4日 東京都第二代表 JR 東日本戦以来久しぶりの観戦。試合展開は一方的な試合だった。特に四番手の大久保投手は哀れだった。7回から登板するも打球がフリーバッティングでも外野手の頭上を軽々と抜ける打球は滅多に見られない。(二塁打二本・三塁打三本・本塁打一本・自責点 6) 大久保投手は俗に言うボールにキレもなく単純なピッチング、これでは打たれて当然。先発の岡投手投球が単調で2死から四球を出しけん制悪送球し三連打で2点献上。二番手上田投手投球にリズムがなく4本打たれ3点献上。3番手の重信投手は内野安打を含む3安打されるも要所を締めて得点を与えず、さすが重信投手。

打撃陣は2回先頭4番大野選手が内野エラーで出塁後、投手ボークで無死二塁5番荒川選手レフトへタイムリーで同点にするも6番竹内(和)選手送りバンド失敗、ダブルプレーで反撃の目を潰す。

4回1死後4番大野選手が左中間に二塁打5番荒川選手がセンターへ犠牲フライで大野選手三塁へ、6番竹内(和)選手前打席の汚名挽回のセンター前へタイムリーヒット1点返し、7番森川選手もレフト前へと繋ぐも8番木内選手三振で反撃出来ず。7回1死後7番森川選手今日2本目をセンター前へ、8番木内選手レフトフライで2死、9番・1番が連続四球を選び2死満塁とする。2番井村(新人)選手が渋とくライト前に2点タイムリー、途中出場期待の増野選手が初球キャッチャーフライでチャンスを潰す。

以後東京ガスの投手陣に抑えられ敗れた。打撃陣では4番大野選手が三安打と好調を維持していた。

昨日日立製作所とオープン戦を戦い5対4の逆転勝ちとの情報。

往路3時間、復路4時間の遠征で疲労があったかと思うが若手の二人の投手はリズム感がなく、チームに勢いが生じない。また、チームのエース格の大久保投手があのような惨めな姿は二度と見

たくない。

時には大差の試合もあるが都市対抗野球大会出場チームの試合としては恥ずかしい限りである。

今後同一地区のチーム同士としてこれからの対戦にも少なからず影響が出てくる。相手が自信を持って挑んでくる(日本選手権大会関東予選・関東選抜リーグ戦・東京都企業秋季支部大会等)

本大会まで後 21 日、オープン戦も 9 試合あり一試合一試合を大切に戦い、都市対抗野球出場チームの誇りと自信を持って戦ってほしい。

現在怪我している選手を見かけるが大会までに一日でも早くベストコンディションの体勢を築きチームに勢いと活性感を与えてください。



4 番大野選手 好調 3 安打



2 回同点打の 5 番 荒川選手



3 番手 5 回・6 回要所を押さえた重信投手

2015 年 6 月 29 日

土田 唯雄